

【 おりひめトライアルゲームズ IN 大分 】

試合結果報告

会場:	大分県・大分県立総合体育館
試合日:	平成 29 年 8 月 12 日 (土)

POR(ポーランド)	VS	ANG(アンゴラ)
11	前半	18
11	後半	12
0	第1延長	0
0	第2延長	0
22	合計	30

戦評

おりひめトライアルゲームズIN大分 2日目。ポーランド女子代表対アンゴラ女子代表の一戦は、アンゴラ代表のスローオフでスタート。速いボールまわしからアンゴラ代表10番ピボット アルベルティーナのポストシュートで先制。その後も15番アゼナイジのカットインなどの3得点で8分の段階で2-7とアンゴラがリード。その後ももうひとつ攻撃の噛み合わないポーランドは、10分に15番アゼナイジ。11分に6番ジュリアナとたて続けに退場者を出したアンゴラに対し、有利な状態にもかかわらず、得点を重ねることができず、12:40に4対11と7点差になった場面で、たまらずタイムアウト。15分にアンゴラのセンター90番イザベルに対し、マンツーマンをつけ流れを変えようとするポーランドに対し、アンゴラベンチは早めにタイムアウトを取り修正を図る。直後、アンゴラは21番マグダの打点の高いロングシュートで更に突き放す。後半、徐々に攻撃のかみあい始めたポーランドは19分からの3連取で追い上げるが、28分にポーランド66番ヨアンナの退場で流れは止まり、前半は11対18のアンゴラ7点リードで折り返した。

後半はギアを上げてきたポーランドに対し、アンゴラは15番アゼナイジのミドルシュートや10番アルベルティーナのポストシュートで得点を重ね、一進一退の攻防が続き25分を過ぎた時点でもアンゴラの7点リードのまま。28分アンゴラ10番アルベルティーナの退場で残り時間1人少ない状態で戦うアンゴラに対し、ポーランドは得点することができず、そのまま試合終了。22対30でアンゴラ代表がこの戦いを制した。

報告記入者 :

松尾 司